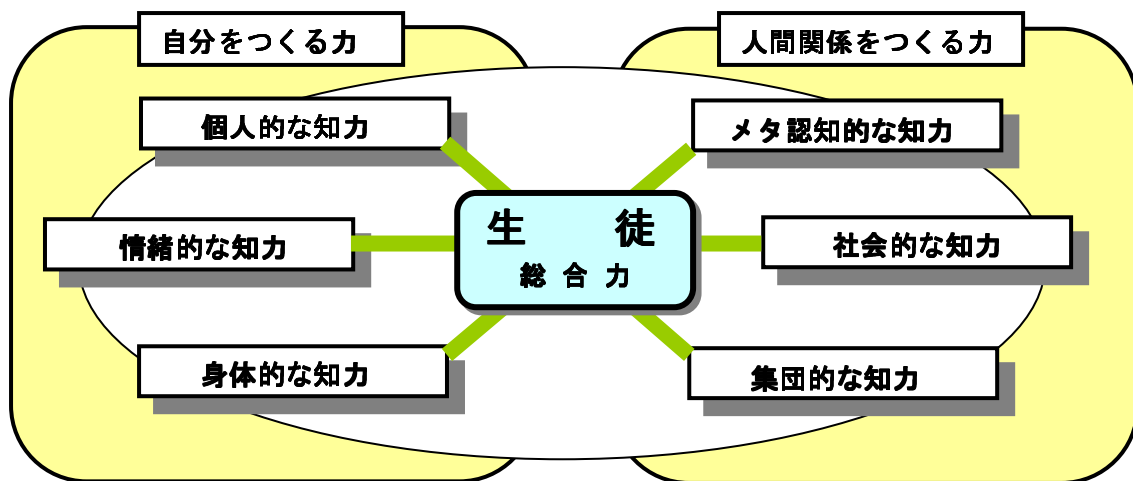


(3) 総合的な学習の時間

1 生徒に育てたい5つの力

○学校全体の研究主題 「豊かな人間性を育む教育活動」

・「豊かな人間性」を育む力



よりよく生きる自己形成力

自己実現のための学力形成力

○「総合的な学習（竜南プロジェクト学習）」で生徒に育てたい力

- ・ 自然や社会、異年齢などの人々と、よりよいコミュニケーションを図っていく力
[コミュニケーション能力]
- ・ 課題を見つけ、課題を解決するための追究活動を企画し実行できる力 [課題追究能力]
- ・ 追究活動の成果を他に対してプレゼンテーションし、提案していく力 [表現能力]
- ・ 学びの成果を自己の生活に生かしたり、地域社会に対して働きかけたりする力
[自分の生き方や社会に生かす能力]
- ・ 活動や実践の質を高めるために、適正に自己を批評し役立てる力 [批評能力]

2 「生徒に育てたい5つの力」の具体化

コミュニケーション能力

- ・ 社会のマナーやきまりを守り、他に迷惑をかけずに生きる力 [公共力]
- ・ 集団の中で、活動目標を達成するために協力し合いながら活動を推し進める力 [人間関係調整力]
- ・ 異年齢、異文化などの人々と積極的にかかわっていくことができる力 [社会関係形成力]
- ・ 自然のシステムを理解し、自然と調和して生きる力 [自然との共生力]

課題追究能力

- ・ 事象などから課題を見出し、仮説を立てることができる力 [課題設定力]

- ・課題解決のために、見通しを持ちながら追究方法を企画する力 **【追究企画力】**
- ・課題について、フィールド調査や訪問調査、図書資料、インターネットなどで情報収集することができる力 **【情報収集力】**
- ・収集した情報を整理・分析し、課題に対して自分の考えを持つ力 **【情報処理・分析力】**
- ・課題解決のために粘り強く追究し、追究内容から新たな追究を見出す力 **【追究継続力】**

表現能力

- ・他に提案するために、効果的な伝達手段を選択することができる力 **【表現方法の選択力】**
- ・タイトルを工夫したり絵や図表を活用したりしてレイアウトを構成する力 **【レイアウトの構成力】**
- ・資料を活用しながら、相手に対して分かりやすく説明する力 **【言語表現力】**

自分の生き方や社会に生かす能力

- ・他に頼らず、自分の力で活動を推し進めていく力 **【実行力】**
- ・自分のあり方や生き方を考え、改善していく力 **【自己改善力】**
- ・地域や関係機関に対して、役立つ情報や自分の考えを発信する力 **【情報発信力】**
- ・よりよい地域社会をつくるため、進んで地域活動に参加する力 **【ボランティア活動力】**

批正能力

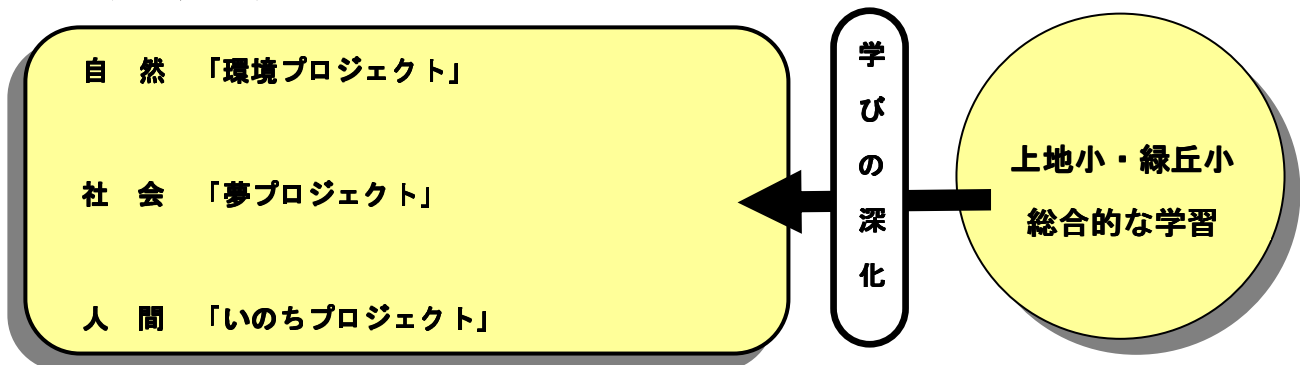
- ・活動を振り返り、自分の活動について適正に自己評価する力 **【自己評価力】**
- ・活動を振り返り、よりよい活動の仕方を考える力 **【主体的な自己批正力】**
- ・他の子の活動内容について、質問や自分の意見を述べるなどの評価や感想を持つことができる力 **【相対的な自己批正力】**

3 本年度の研究推進の目標

- ① 「生徒に育てたい5つの力」の達成をめざし、よりよい指導のあり方について研究を深める。
- ② 学び方を育てるための、自己評価や相対評価などの生徒自身の評価活動について研究を深める。
- ③ 教師の評価活動のあり方について研究を深める。

4 研究の進め方

- ・学年単位で担当者を2名選出し、「総合的な学習」の実践活動に取り組む。
- ・3年間を貫く共通テーマとして、「環境学習プログラム」に準拠・発展した学習に取り組む。
- ・上記の環境教育に加えて、各学年でテーマを設定し、特色あふれる追究活動を実施する。



- ・「生きる力」を育てるために、教科の専門性を発揮し、問題意識を大切にした学習内容を組織する。
- ・E S Dの視点＝「持続可能な発展のための教育」を意識することで切実感を醸成する。

5 学習段階と評価規準及び「生徒に育てたい力」との関連

段階	評価規準	生徒に育てたい力					具体的な力
		コミ	課題	表現	自分	批正	
気づく	事象を関連させたり比較したりする見方ができる		●				課題設定
	自分で追究できる課題を見つけることができる		●				
	学習目的に即した価値ある課題を立てることができる		●				
	他に頼らず自己の力で課題を立てることができる				●		実行
	持っている知識や経験をもとに仮説を立てることができる		●				課題設定
	課題づくりの内容について適正に自己評価できる					●	自己評価
調べる	課題を解決するために、的確に調査方法を選択し、追究活動の計画を立てることができる。		●				追究企画
	他の追究内容について、進んで意見を出し評価することができる					●	相対的な自己批正
	活動内容について関係機関の人と打ち合わせをすることができる	●					社会関係形成
	インターネットを使って、公共機関の時間や料金を調べることができる		●				情報収集
	グループ追究では、仲間と協力して活動を進めることができる	●					人間関係調整
	活動内容を見直し、適切に修正することができる					●	主体的な自己批正
	他に頼らず、自分の力で追究活動を進めることができる				●		実行
	訪問調査（体験）では、マナーを守って担当者と接することができる	●					公共
	マナーを守って公共機関を利用できる	●					
	施設等の利用では、取材（体験）施設のきまりを守って行動することができる	●					
	活動時間を守って、校外学習を行うことができる	●					
	「校外学習のきまり」を守って校外学習を行うことができる	●					
	収集した資料を分かりやすく整理することができる		●				資料処理・分析
	収集・整理した資料を分析し、自分の考えを構築できる		●				
	目的に即し、異年齢、異文化の人と一緒に活動できる	●					社会関係形成
	インターネットや図書資料から、課題解決のための資料を見出すことができる		●				情報収集
	関係機関に資料請求をし、資料を収集できる		●				
	必要に応じ、他の子との情報交換や意見交換をすることができる		●				
	追究活動を振り返り、自己評価できる					●	
	粘り強く、課題を解決するために追究できる		●				追究継続
追究内容から新たな追究を見出すことができる		●				追究継続	

段階	評価規準	生徒に育てたい力					具体的な力
		コミ	課題	表現	自分	批評	
表 す ・ 伝 え る	異年齢や異文化の人に、分かりやすく学んだことを伝えることができる	●					社会関係形成
	他に伝えるために効果的な伝達手段を選択できる			●			表現方法の伝達
	収集した資料を分かりやすく手直しすることができる			●			レイアウトの構成
	模造紙、ホームページ、パワーポイントの制作では、紙面や画面の構成を効果的に工夫することができる			●			
	資料を活用して、自分の考えを的確に述べるができる			●			言語表現
	プレゼンの仕方を振り返り、適正に自己評価できる					●	自己評価
	プレゼンの仕方を振り返り、よりよいプレゼンの仕方を考えることができる					●	主体的な自己批評
	他の発表の仕方や内容について意見を持ち、進んで伝えることができる					●	相対的な自己批評
	自分の考えにもとづいて、プレゼンを実行できる				●		実行
	グループでのプレゼンでは、役割を分担し合い、自分の役割を責任をもって行うことができる	●					人間関係調整
行 動 す る	自分のあり方や生き方について考えることができる				●		自己改善
	地域や関係機関に、役立つ情報や自分の考えを発信できる				●		情報発信
	よりよい地域社会をつくるため、進んで地域活動に参加することができる				●		ボランティア活動
	活動を振り返り、適正に自己評価できる					●	自己評価
	活動の仕方を振り返り、よりよい活動の仕方を考えることができる					●	主体的な自己批評
	他の活動内容について意見を持ち、進んで伝えることができる					●	相対的な自己批評
	地域活動の方法や内容について、関係する地域の方と打ち合わせをすることができる	●					社会関係形成
	グループ活動では、仲間と協力して活動を進めることができる	●					人間関係調整

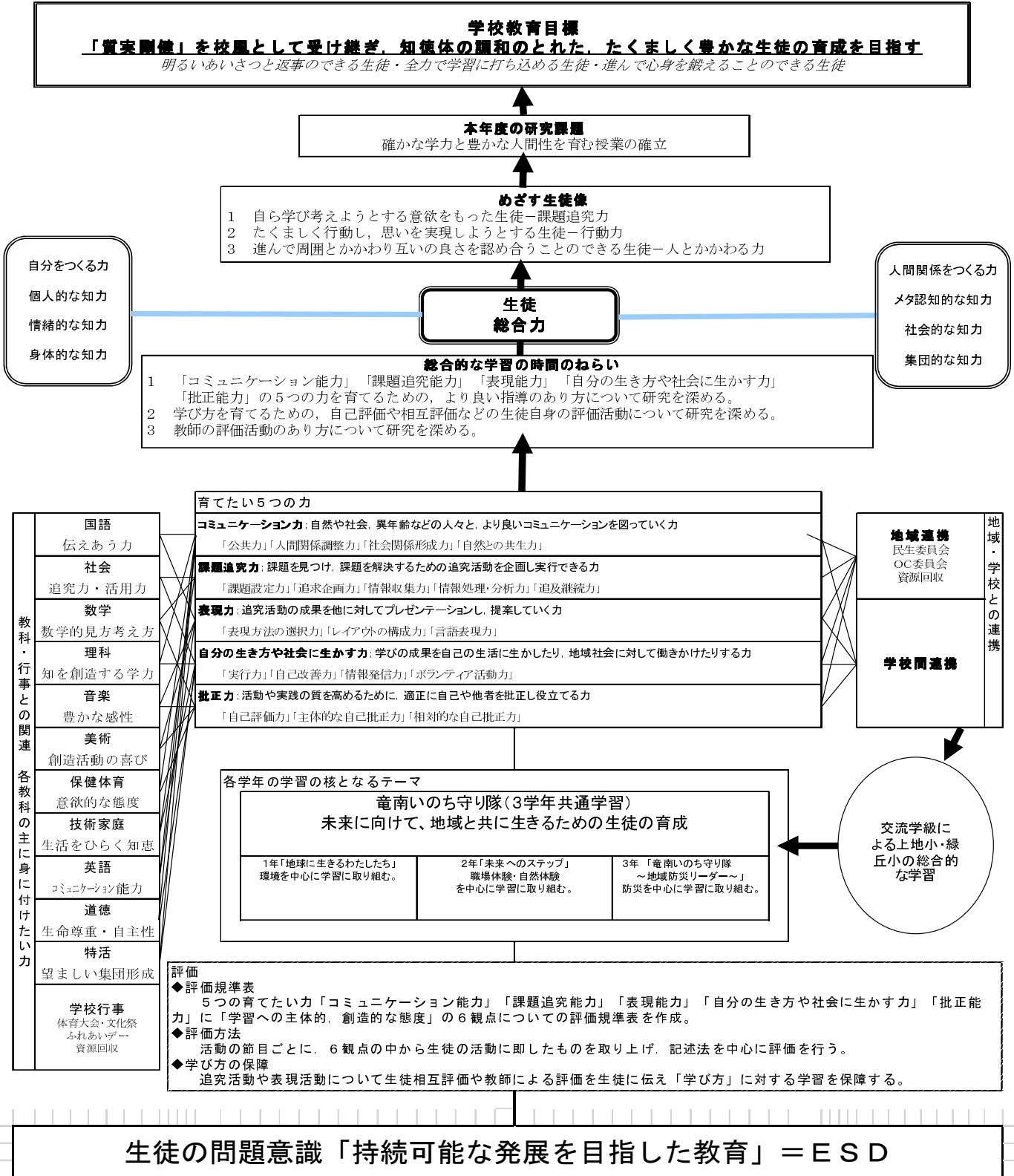
*上記の評価規準にもとづき、各学年の活動内容に即して評価規準を選択・設定し、評価活動を行う。
また、上記は学習段階ごとで示しているが、活動形態によって他の段階のものも評価規準に入れる。

6 評価の仕方

- ①上記評価規準を参考に、「課題追究能力」「コミュニケーション能力」「表現能力」「批評能力」「自己の生き方や社会に生かす能力」「学習への主体的、創造的な態度」の5観点で評価活動を行う。
- ②活動の節目ごとに、5観点の中から生徒の活動に即したものを取り上げて、記述式で評価する。
パソコンに評価を入れておけば、学期や学年全体の評価活動に生かしていくことができる。
- ③追究活動や表現活動について、生徒相互や教師が行った評価を生徒に伝え、「学び方」に対する学習を保障していく。

※評価には加えないが、ESDに対する意識を生徒がどのようにもつことができたか、生徒の内面の変容をとらえたい。

7 総合的な学習の時間 全体計画図



- 教科・行事との関連
各教科の主に身に付けたい力
- 国語
伝えあう力
 - 社会
追究力・活用力
 - 数学
数学の見方考え方
 - 理科
知を創造する学力
 - 音楽
豊かな感性
 - 美術
創造活動の喜び
 - 保健体育
意欲的な態度
 - 技術家庭
生活をひらく知恵
 - 英語
コミュニケーション能力
 - 道徳
生命尊重・自主性
 - 特活
望ましい集団形成
 - 学校行事
体育大会・文化祭
ふれあいデー
資源回収

